

マザアスニュース 第19号

ひだまり

2001年1月1日(年4回発行)

発行/社会福祉法人マザアス

〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

Tel 0424-77-7261

Fax 0424-77-7500

発行責任者/高原 敏 夫

編集責任者/萱 野 彰一郎



絵たよりの会

「海図なき航海」

事務長 井上 道明

新年明けましておめでとうございます。21世紀の最初となる今年が、皆様にとりましてよき年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、介護保険が始まる前年、全国社会福祉法人経営者大会に参加いたしたことがあります。その際、主催団体の会長が「私達は海図なき航海に出ようとしている」とおっしゃいました。この言葉の意味するところは、今までは護送船団方式で守られていたが、今後は施設経営の自立が必要になる、と私は理解しました。この言葉は老人福祉関係者が今まで経験したことのない、先行きの予測が困難

になるという思いを比喩的に的確に表現した言葉であると思います。

施設経営の自立を考える時に、私どもの法人としては、介護保険制度への移行にあたって借り入れた多額の資金の返済が、21世紀初めの重要な経営課題であるといえます。この返済のための資金計画も当然考えられております。しかし実務担当者の一人として、さらにその返済に願をかけ、この返済が終わるまで、私が大好物である甘味のうち何かを絶ってみようかと、思案しているところであります。

秋光祭

去年の11月におこなわれた「秋光祭」の様子を、ほんの少しですが紹介します。「秋光祭」はマザアスの文化活動の集大成です。



茶 道

うまくできるかな？

参加された天野さん（上の写真左）の談。
「おいしくお茶が飲めたわ。本当は着物を着てお点前したかったんだけど、でも上手にできてよかったわ。行事のときは不思議と良くできるわねえ。」

詩 吟

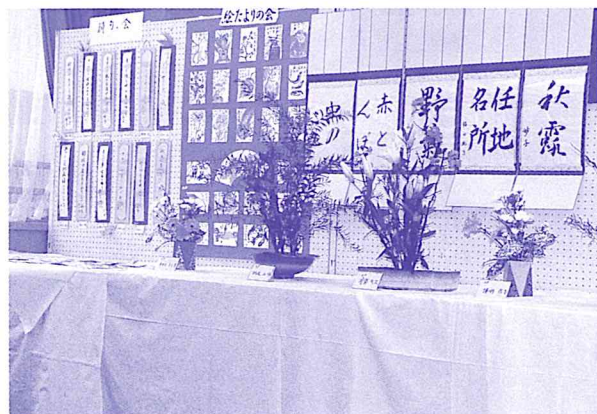
楓橋夜泊 張 継
月落し鳥啼いて 霜天に満つ
江楓の漁火 愁眠に對す
姑蘇城外 寒山寺
夜半の鐘声 客船に到る



富士山 石川 大山
仙客来り遊ぶ 雲外の巔
神龍棲み老ゆ 洞中の淵
雪は純素の如く 煙は柄の如し
白扇倒しきに懸る 東海の天

カッコいいねえ～

作 品 展 示

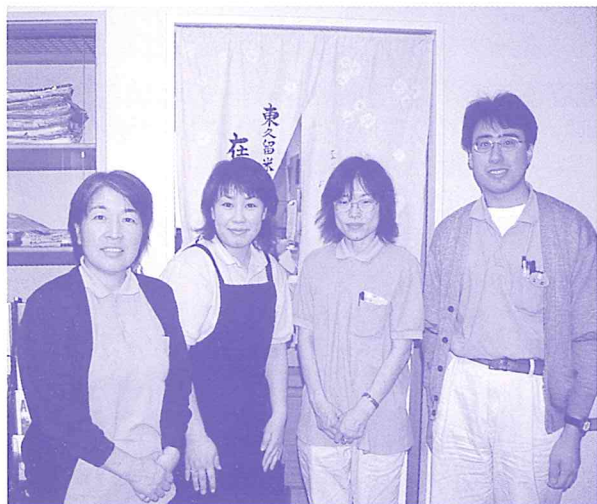


茶道や詩吟の発表だけでなく、ほかのさまざまな活動から生まれたたくさんの作品も展示されました。書道、生け花、手芸、陶芸、絵画、俳句など、数えあげればきりがありません。マザアスという場にこれほど多趣多才な人たちが集っていることに改めて驚かされます。

また、この日はグループホームたきやまやデイサービスセンター大門の利用者の皆さんも見学に来られ、とてもにぎやかな一日となりました。

マザアスでは現在も今年の秋光祭に向けて多くの文化活動が進行中です。

声の欄



左から、佐田・佐々木・長畑・久松

今回は、介護保険導入により、増々忙しくなり毎日遅くまで頑張っている在宅介護支援センターの職員に声を寄せてもらいました。

仕事を通して思うこと 佐田 康子

これから先、10 数年足らずで第一次ベビーブーム生まれの世代が生産現役から退く時がきます。日本に世界に類をみない超高齢社会の到来です。少子化による生産人口の減少で若者に過大な負担がかかり、厳しい時代になることが考えられます。

健康な高齢者が高齢者のお世話をする図式は当たり前、地域での支え合いも必要になると思います。介護保険が導入されて期待が大きいのですが、現実はこのからの改正を見守って少しでも良くしていくところだと思います。これから先住み慣れた所で安心して老いることができるように、仕事を通して微力ながら役に立たせていただきたいと思います。

日々を振り返りつつ今後も… 久松 信夫

2 年前の 9 月半ばに、旧保健所の保健福祉センターの 2 階で、私達 3 人は氷川台の本拠地を離れ、市職員を横目に仕事を始めました。在宅介護支援センターが市内に初めて産声をあげて、市民の皆さんから「いったいどういう所なのか」とよく聞かれました。始めはうまく説明できませんでしたが、仕事に慣れると自信を持って答えられるようになりました。

1 年後に、氷川台に戻ってからは、介護保険関連の仕事に追われ、皆さんの要望に応えられなかったこともあるかと思います。

まだまだ市内に根付いていないかもしれませんが、地域の皆さんに叱咤激励されながら 3 人で頑張っていきたいと思っています。



支援センターに来て思うこと 長畑 直子

特養から支援センターにきて早や 2 年が過ぎました。最初は右も左もわからず電話を受けるのも恐怖でしたが、今では一日に何本もの電話をかけるまでになりました。利用者の方のお宅に訪問する事にも慣れ、訪問を楽しみにして下さるのがとてもうれしいです。よく「近くに來たらいつでも寄ってちょうだい」と言われますが実際はなかなか訪問できないのが現状です。在宅で一人暮らしの方は何か手伝ってもらおうという事も必要ですが、何もしなくても話し相手になって欲しいというのが本音ではないでしょうか。施設と在宅両方をみて考えさせられる事もたくさんあります。いつも自分だったら…と考え相手の立場に立ち、利用者さんと関わっていきたいと思っています。



大切にしたいこと 佐々木 友紀

在宅介護支援センターの事務として働き始め、5 ヶ月が過ぎました。業務内容は、書類やデータの整理、ケアマネジャーの補助をしています。

センターには、利用者の方、その御家族、関係する事業所などから沢山の電話がかかってきます。ケアマネジャー達は、訪問や接客で席を外すことが多く、その間にも「相談したい。」「緊急に対応してほしい。」「とベルが訴えるように鳴り続けます。不在時に少しでも早く正確に、そして電話をして下さった方が不快な思いをされない様、一つ一つの言葉を大切に心がけ電話をとっています。これからも、暖かなふれあいを大事にしていこうと思っています。



栄養課だより

おせちについての豆知識

おせちとは、御節供を略したもので古くは、お正月や五節句などに神に供える料理を意味しました。

重箱の中身には、縁起をかついで、黒豆（健康）、数の子（子宝）、田作り（豊作）、かちぐり（勝運）、昆布（喜ぶ）、えび（長寿）、伊達巻き（文化）、紅白なます（根気）、紅白かまぼこ（国の平安）、れんこん（見通しが良い）などがつまられています。

調理師 土屋 ひで子



マザアスの三段重の一例

絵手紙による交流の輪

絵たよりの会では12年3月からマザアスに絵手紙をいつも展示しています。心を伝える絵手紙は皆さんに喜ばれているようで、私達も励みになって嬉しく思っています。

秋光祭にも絵手紙を展示しました。入所の方やデイサービスの方達も見事な作品を出して華やかな文化祭でした。

後日マザアスで入所のお年寄りと一緒に絵手紙をかくて楽しみました。初めての試みなのでどこに焦点を合わせてよいのか最初は戸惑いもありましたが、手を握ったり肩をたたいたりして仲良しになることができました。自分からどんどん進んで絵を描かれる方、絵はだめなのでお話ししましょうと言われる方、いろいろな交流のうちにぶっつけ本番の1時間もアツという間に過ぎ、出来あがった絵手紙を赤い台紙に貼って拍手喝采。全員で「赤

編集後記

2000年という記念すべき年が終わり、2001年が始まる時に新聞発行に関わり、文章を考えたり、書いたりすることの難しさをあらためて感じました。土屋ひで子

— 掲 示 板 —

●研究発表会のお知らせ

下記の日程で研究発表会を開催します。興味のある方はぜひ足を運んでみて下さい。

○日時…平成13年2月22日18:30(予定)～

○場所…マザアス3F 地域交流ロビー

●東部在宅介護支援センターの相談協力員に新しく4名の方が加わりました。(市長の委嘱)

上の原 木村貴資雄

氷川台 谷中 宣夫

大門町 早川 智、上野智恵子

●バザー収支報告

模 擬 店… 59,270円

フリーマーケット… 12,625円

バ ザ ー… 126,804円

寄 付… 11,157円

収入計 209,856円

支出計 54,957円

純利益 154,899円

ご協力いただきましてありがとうございました。



とんぼ」の歌を唄って無事終了。またお会いしましょうねと約束しました。

私達は小池邦夫先生の「ヘタでいい、ヘタがいい」という言葉に励まされて絵手紙をかくています。今回絵手紙を通じてお年寄りの皆さん方と心温まるひとときを過ごせたことを幸に思いました。これからもお年寄りの気持ちを理解し、その心に添えるよう交流の輪が広がればと思っています。 絵たよりの会



特別養護老人ホーム マザアス東久留米 Tel 77-7261 Fax 77-7500	デイサービスセンター マザアス氷川台 Tel 77-7263 Fax 77-7500	ヘルパーステーション マザアス氷川台 Tel 77-7260 Fax 77-7500	
訪問看護ステーション マザアス氷川台 Tel/Fax 70-1740	東久留米市東部 在宅介護支援センター Tel/Fax 73-9996	グループホーム たきやま Tel/Fax 77-1525	老人デイサービスセンター マザアス大門 Tel 70-0065 Fax 70-8024